

東京の観光振興を考える有識者会議（第2回）

「ホール・劇場等問題」に関する
東京都の対応について

CULTURE & TOKYO

東京都 生活文化局

1 「ホール・劇場等問題」の現状と課題

(1) ホール・劇場等の不足と確保の必要性

- ・ 都内をはじめ首都圏では、昨今、ホール・劇場等の閉鎖や改修が相次いでおり、施設の不足が顕在化
- ・ 芸術活動の中でも、バレエ及びオペラ、ポップス音楽のジャンルへの影響が大きい



首都圏の主な劇場・ホールの閉鎖・改修状況

1 平成27年度までに閉鎖

- ・ 新宿コマ劇場 (2088席 平成20年閉鎖)
- ・ 東京厚生年金会館 (2062席 平成22年閉鎖)
- ・ ゆうぽうとホール (1803席 平成27年閉鎖)
- ・ 青山劇場 (1200席 平成27年閉鎖)

2 平成27年度以降、建て替えや改修を実施 (予定を含む)

- ・ 渋谷公会堂 (2084席)
- ・ 日本青年館 (1360席)
- ・ さいたまスーパーアリーナ (約3万7千席)
- ・ 横浜アリーナ (約1万7千席)
- ・ 日比谷公会堂 (2074席)

※ 日本芸能実演家団体協議会によれば、この10年間で計2万5千席余が減少

1 「ホール・劇場等問題」の現状と課題

(2) 実演芸術活動の旺盛な新規需要への対応

- ・外国人観光客をはじめ、今後、首都圏全体で実演芸術活動の旺盛な需要が見込まれるため、これらを受け止めるための取組が必要

(3) 国際的文化都市としての魅力の向上

- ・ホール・劇場等施設の整備、インバウンド需要に対応した夜間公演の充実、施設周辺の飲食サービスや観光との連携が必要



 ハード・ソフト両面の
対応が必要



2 現状の取組

(1) 都内全域の施設の基本情報を調査

- ・最新の調査結果に基づき、約1,300施設の座席数や連絡先等のリストを作成

(2) 利用可能な都有地の情報を調査

- ・野外コンサート会場、仮設ホール建設等に適した都有地リストを作成

(3) 実演家団体13分野へのヒアリングを実施

- ・バレエ、ポップス音楽などの各ジャンルに対して施設利用のヒアリングを行い、その結果をとりまとめ

(4) 国への緊急要望（3月30日実施）の具体化を推進

- ・国及び都、首都圏の自治体が参画し、情報を共有し、課題解決を図る場の設置に向けた調整等

(5) 芸術文化やホールの専門家等による協議の場を立ち上げ、本格的検討を開始



近日中に、東京都の「緊急の取組」として発表

3 今後の検討事項

短期・中期・長期的な観点から、総合的な取組を推進

(1) ホール・劇場等不足への対応

- ・当面、2020年までを目途に、既存施設の有効活用を進めるため、施設と利用者のマッチング強化や施設を利用しやすい環境づくりを促進
- ・施設の改修動向や閉鎖、新設の状況などの詳細調査を今後実施し、2020年以降も見通した長期的視点からの取組について検討



(2) 外国人観光客や都民のナイトライフの充実策

- ・海外主要都市の事例などの詳細調査を行い、東京の芸術文化資源を活かした夜間公演、飲食サービスや観光との連携を含め、ナイトライフの充実に向けた方策について検討